

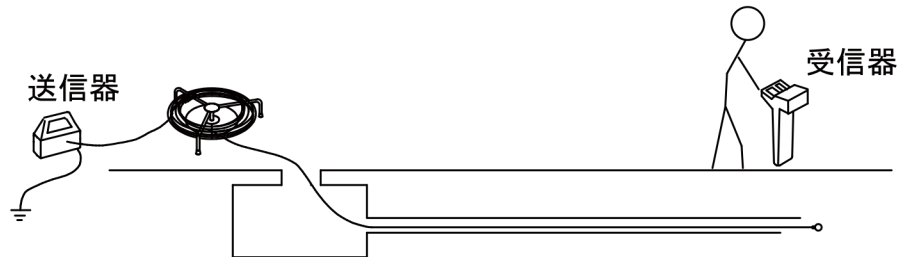
# ロケーティング・ロッド 取扱説明書

## 1. 概要

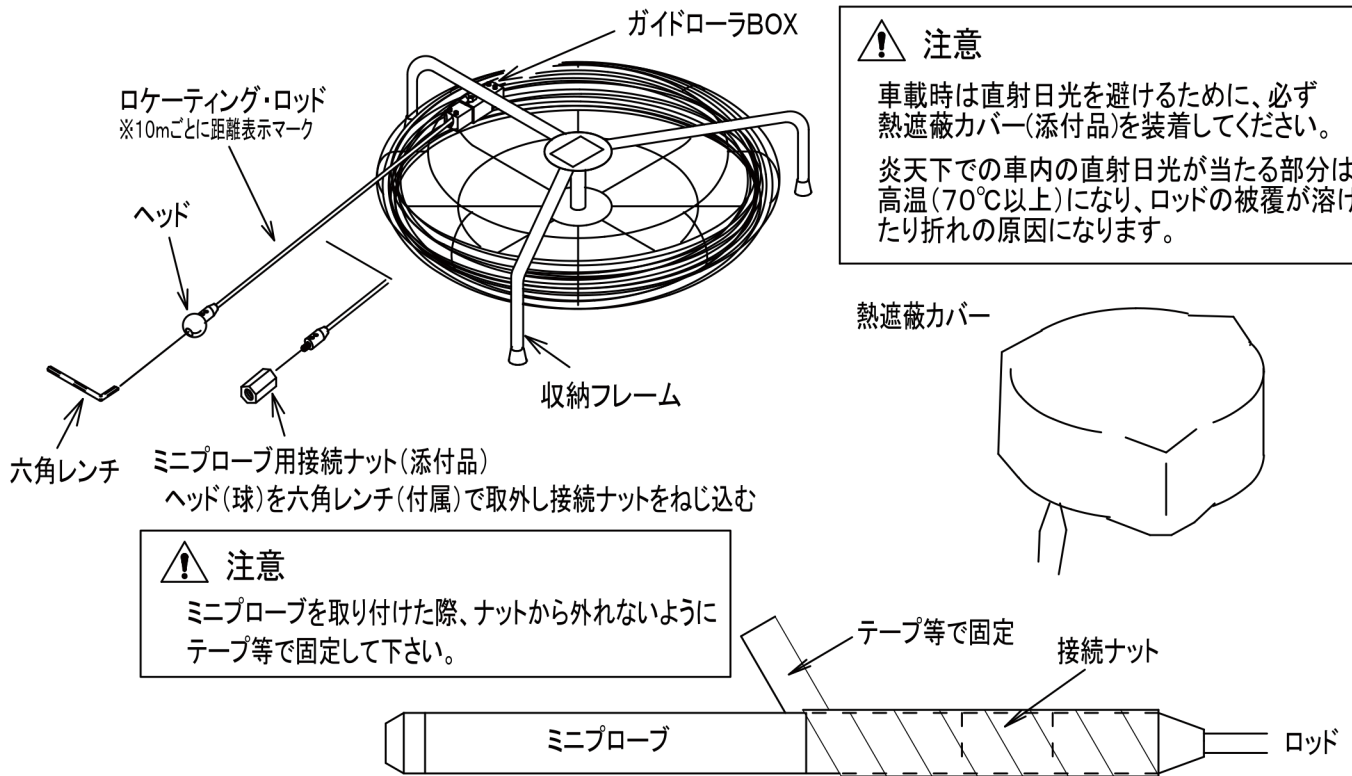
本器は、埋設ケーブル位置測定器にて金属／非金属の空管路のルート探索を行うためのオプション品です。本器を空管路に挿入して測定器の送信器から信号給電すると、地上の受信器にて空管路の位置と深度を測定できます。先端(端末)のアースを取らなくても使用可能です。

通線材には電流を良く通すカーボン繊維に導電性ポリマーを被覆した軽量のロッドを使用しており、高剛性で、弾性にも優れているため130mまでの通線が可能です。

使用例



## 2. 構成および各部の名称



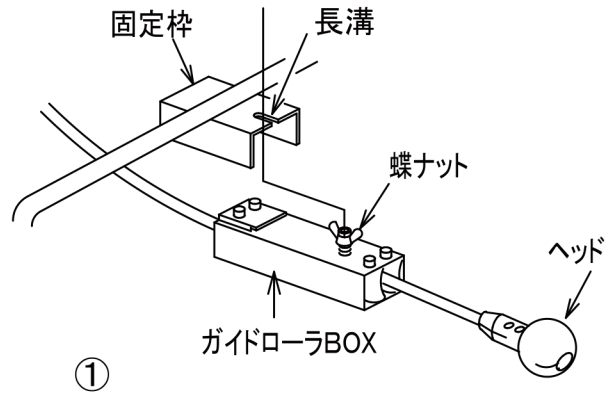
## 3. 仕様

項目		規格	
ロケーティング・ロッド	サイズ	6.2mmφ × 137m	
	材質	カーボン繊維+導電性ポリマー被覆	
	距離表示	10m ~ 40m	10m毎に白マーク
		50m ~ 90m	黄マーク
100m ~ 130m		赤マーク	
最小曲げ半径	300 mm		
収納フレーム	直径 900mmφ		
質量	13 kg		

## 4. 取扱方法および注意

### 1) ガイドローラーBOXの取付方法

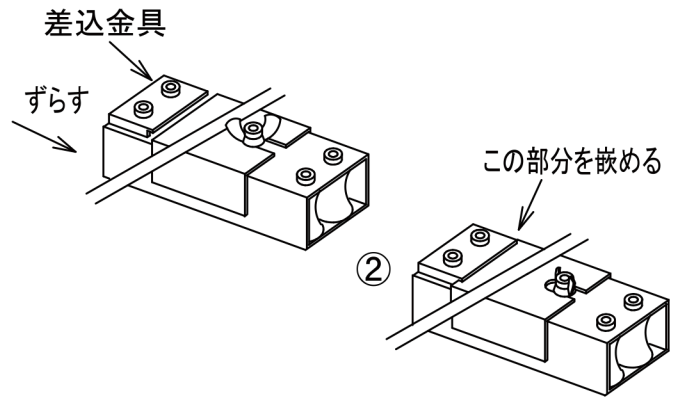
- ① ガイドローラーBOXを固定枠にはめ、蝶ナット部を長溝位置へずらしませう。
- ② 差込金具を固定枠に嵌め蝶ナットを締付けてください。



#### ⚠ 注意

使用しないときはガイドローラーBOXを外し、先端ヘッドと共に必ず収納フレームの内側に収納してください。

ヘッドが収納フレームから飛出さないように、ゴムロープで固定してください。

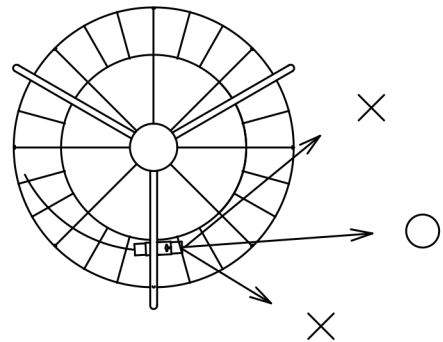


### 2) ロケーティング・ロッドの繰出し

ガイドローラーBOXから真っすぐに繰出してください。

#### ⚠ 注意

急激な繰出しや、無理な角度で繰出さないでください。折損の原因になります。



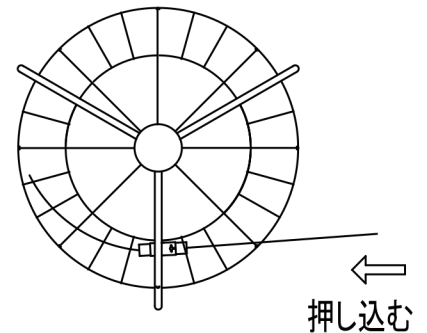
### 3) ロケーティング・ロッドの巻取り

ガイドローラーBOXへ押し込むようにして巻取ってください。

#### ⚠ 注意

収納フレームを回して巻取らないでください。

収納フレームを回して巻取るとロケーティング・ロッドが急激に曲がり込み、折損の原因になります。



## 5. 埋設ケーブル位置測定器とロケーティング・ロッドの組み合わせによる管路探索方法

### 1) 送信方法

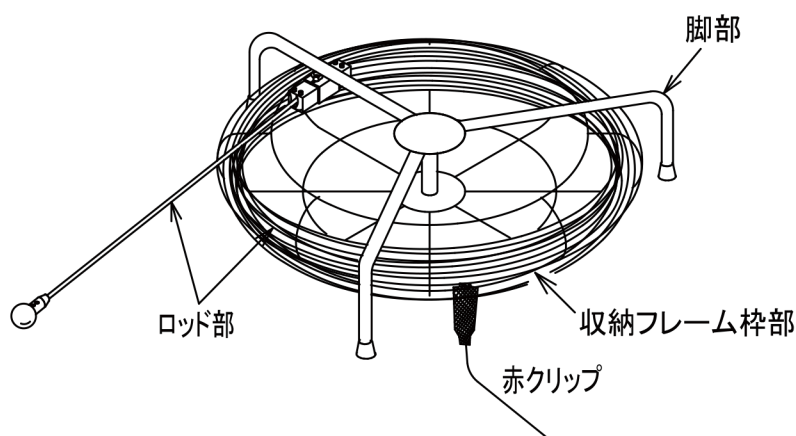
送信方法は直接法を使用して下さい。

### 2) 接続方法

#### ① ロケーティング・ロッドへの接続方法

出力(赤)のクリップは下図のように収納フレーム枠部に接続するか、または、ロッド部に直接接続してください。

(注)脚部に接続しても信号電流は流れません。



#### ② 接地(アース)方法

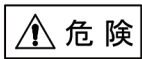
接地は大地にアース棒を打込み、そこにアース(黒)のクリップを接続してください。  
都心部など、アース棒を打込む場所が無い場合は、マンホール枠へ接続してください。

#### ③ 接続の確認

クリップを接続した後、送信器の出力電流をチェックしてください。  
詳細は埋設ケーブル位置測定器の取扱説明書をご参照ください。

# 安全に関するご注意

- ご使用の前に、この「安全に関するご注意」と「取扱説明書」の本文を良くお読みの上、製品を安全に正しくお使いください。
- 安全上の注意事項を下記の様な表示で記載しております。表示の内容を良く理解してから本文をお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



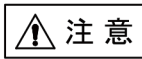
**危険**

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



**警告**

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。軽傷または物的障害が発生する頻度が高い場合。



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、障害を負う危険が想定される場合、ならびに物的障害のみ発生が想定される場合。



**禁止**

してはならないことを示します。



**強制**

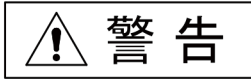
しなければならないことを示します。

## 安全上の注意事項



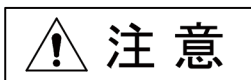
**危険**

- ロケーティング・ロッドは剛性、弾性力のある導電性のロッドです。電力線に接触させないでください。感電のおそれがあります。



**警告**

- ロケーティング・ロッドを道路や通路に長く伸ばさないでください。車に引っかかったり、足を引っかけ転倒するなど、けが・事故などの原因になります。
- 本機を逆さにして使用しないでください。ロケーティング・ロッドが収納フレームから飛び出すおそれがあります。
- 折損したものは使用しないでください。カーボン繊維が手に刺さるなど、けがの原因となります。
- 本機の分解改造は絶対しないでください。けがや故障の原因となります。



**注意**

- 車載時は直射日光を避けるために、必ず熱遮蔽カバー(添付品)を装着してください。炎天下での車内の直射日光が当たる部分は高温(70℃以上)になり、ロッドの被覆が溶けたり、折れの原因となります。
- ロケーティング・ロッド被覆の傷や折損など、日常の点検を行ってください。
- 本機の上に重いものを乗せないでください。変形や故障の原因となります。
- 本機を落下したり、ぶつけたりしないでください。変形や故障の原因となります。
- 本機を火の近くに置かないでください。熱によりロッドの折損等の原因となります。